

2021年12月21日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

コロナ禍の影響を受けるも、過半数が開業に満足 ～「新規開業パネル調査」アンケート結果の概要～

日本政策金融公庫(略称:日本公庫)総合研究所は、新規開業企業の開業後の変化をとらえるため、2016年に開業した企業の状況を5年間追跡するパネル調査を実施しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

<主な調査結果>

1 採算は2019年末までは堅調に推移(本文6ページ)

業況をみると、「やや良い」の割合が、2016年末の44.5%から2019年末は54.6%と高くなり、「やや悪い」が43.3%から35.2%と低くなっている。ただし、2020年末はそれぞれ2016年末と同水準の42.2%、44.4%に戻っている。採算をみると、2016年末から2019年末にかけて「黒字基調」の割合が50.9%から76.1%へと高くなっているが、2020年末には62.8%に低下した。

2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた割合は86.0%(本文7ページ)

新型コロナウイルス感染症によるマイナスの影響の有無を尋ねると、「現在、大いにある」が36.6%、「現在、少しある」が28.6%で、以前に影響があった企業を含めると86.0%の企業が影響を受けている。業種別にみると、「飲食店、宿泊業」が97.5%と最も高く、「教育、学習支援業」(96.6%)、「運輸業」(92.4%)、「製造業」(91.7%)も9割を超えている。

3 開業の満足度は高い(本文10、11ページ)

収入に対する満足度は「満足」より「不満」の方が多い。他方、仕事のやりがいに「満足」を感じている割合は、2016年末は87.3%と非常に高く、その後「満足」の割合は低下しているものの、2020年末でも64.6%と高い。総合的な開業の満足度をみると、2016年末は74.1%が「満足」と回答しており、「不満」は8.4%である。「満足」の割合は、2017年末にやや低下した後、2019年末まで同水準が続き、2020年末はさらに低下しているものの、過半数が「満足」している。

<調査の要領> ・調査時点:2016年以降2020年まで毎年12月末
・調査方法:調査票の送付・回収ともに郵送

・調査対象:2016年に開業した日本公庫の取引先3,517社

*本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687(担当:長沼、井上)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー